※令和４年度以降入学生用

学校番号	3015

令和８年度　芸術科

教科	美術科	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新・高校生の美術１　（日本文教出版）						
副教材等	使用なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自分の想い、夢や想像などから、表現することや伝える人や使う人の気持ちを考えて、形や色彩の効果を生かして考えを伝えることを学ぶ。
作品制作は、自己のスピードで順番に完成し、次作品にとりかかる個人進度の形式で行う。
美術全般の知識を身につける。

２　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
（１）造形的な視点で対象や事象をとらえて理解できるようにする。
（２）美術の働きについて考えたうえで主題を発想し、構想を練り創造的に工夫する。
　　また美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。
（３）美術や美術文化と積極的に主体的に関わり、表現や鑑賞による創造活動に取り組む

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期①	色彩の理解	【デザイン】 三原色、無彩色の減法混色で色表を完成させる。 絵の具の特性を理解する。 筆の特性を理解して着彩する。	a:三原色全体のイメージで捉えることを理解している。 b:形や色彩の働きを考えて表現しようとしている。 c:絵の具の特性を生かし、表現方法を理解しながら取り組もうとしている。	ワークシート アイデアスケッチ 作品	ワークシート アイデアスケッチ 作品	授業観察 ワークシート 振り返りレポート
前期②	木目の再現デザイン	【絵画・工芸】 木目シートを本物そっくりに模写する。	a:素材の特徴を生かし創意工夫している。 b:形体・色などを工夫して表現しようとしている。 c:条件や計画をもとに表現することに取り組もうとしている。	アイデアスケッチ 作品	アイデアスケッチ 作品	授業観察 振り返りレポート
前期③	人物画素描	【鑑賞】【絵画】 名画の模写をすることで鑑賞力をつける。 鏡を見て自画像を描く。 写真を見て自画像を描く。	a:名画の模写スケッチに意欲的に取り組み、全体のイメージで捉えることを理解している。 b:　正確に形をとらえ鉛筆で白から黒の諧調に置き換えることができる。 c:人体構造を考えながら表現の構想に取り組もうとしている。	ワークシート アイデアスケッチ 作品	ワークシート アイデアスケッチ 作品	授業観察 ワークシート 振り返りレポート
後期①	読書感想画	【絵画】 国語との教科横断型授業として読書力を絵画表現に生かす。 コンクールに応募することで自作を客観的に批評鑑賞する。	a:読書から得た感動を色や形に置き換えて絵画表現できる。 b:技法を工夫して意図を伝えるために的確に表現している。 c:作画意図を的確に文章で表現できている。	ワークシート アイデアスケッチ 作品	ワークシート アイデアスケッチ 作品	授業観察 ワークシート 振り返りレポー
後期②	寄木工芸	【工芸・彫刻】 大・中・小の角材を組み合わせ実用的な立体作品を制作。 機械製図との教科横断型授業として完成図を斜眼紙に製図する。	a:自分の表現意図に応じて材料や用具の特性を生かして制作している。 b:機械製図との関連を理解して表現することに取り組もうとしている。 c:表現方法に合わせ用具を適切に使用し、表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品	授業観察 ワークシート 振り返りレポート

※令和４年度以降入学生用

後期③	鑑賞	【鑑賞】 映像作品と教科書を利用して美術史を理解する。 内容を理解してアイデアスケッチをする。 鑑賞全般の知識を身につけ文章で表現する。	a:映像作品や教科書の作品それらが人の感情にもたらす様々な効果について理解するとともに、全体のイメージで捉えることを理解している。 b:イメージや美しさなどから発想を深め、創造的な表現の構想を練っている。 c:総合的に考えて構想を練り、文章の創造活動に取り組もうとしている。	ワークシート 作品	ワークシート 作品	授業観察 ワークシート 振り返りレポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度